



■本学学生における新型コロナウイルス感染者の発生について

県立広島大学 広島キャンパスの学生1名、三原キャンパスの学生1名が、新型コロナウイルスに感染していることが判明しました。

【学生の概要】

広島キャンパス学生

- (1) 年代：10代後半～20代前半
- (2) 居住地：広島市
- (3) 症状：喉の痛み、微熱
- (4) 状況：7月7日（木）抗原検査により陽性であることが判明し、自宅待機中
- (5) 他事例との関連：保健所により調査中
- (6) 濃厚接触者等（※）：学内には濃厚接触者なし

三原キャンパス学生

- (1) 年代：10代後半～20代前半
- (2) 居住地：三原市
- (3) 症状：発熱、喉の痛み
- (4) 状況：7月7日（木）PCR検査により陽性であることが判明し、自宅療養中
- (5) 他事例との関連：保健所により調査中
- (6) 濃厚接触者等（※）：学内には濃厚接触者なし

【感染防止のための学内の取組】

- 本学では、今年度、原則対面授業を進めており、学生に対し、基本的な感染防止対策（3密の回避、マスク着用、手洗い・咳エチケットなど）やPCR検査の積極的活用などの感染防止策の徹底、感染しない感染させない行動に心がけるよう注意喚起を実施しています。
- また、広島県の「集中対策の終了及び感染再拡大の防止に向けた取組について（R4.3.4通知）」を踏まえ、県境を越える移動を慎重に判断することや3回目を含むワクチンの積極的接種を促すなど、基本的な感染防止の徹底に取り組んでいます。

今後も、関係機関と緊密な連携を取りながら、感染防止に万全を期してまいります。
本人及び関係者の人権尊重と、個人情報の保護に十分な御配慮をお願いいたします。

※「濃厚接触者等」の定義は、新型コロナウイルス感染拡大防止のための
広島県の対処方針（令和3年12月1日改正）において次のとおり示されています。
「濃厚接触者等」…感染者と感染可能期間に同一空間にいた者